

令和3年度 四国中央市指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市体育施設		
施設所管課	教育委員会教育管理部 文化・スポーツ振興課		
指定管理者名	公益財団法人 四国中央市スポーツ協会		
指定期間	H29年 4月 1日 ~ R4年 3月 31日		
	5年目		

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サー ビス の 履 行 の 確 認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	C	C
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。		B	B	
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	A	
《①の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	職員1名が退職したが、臨時職員、シルバー人材を活用し、支障なく業務を行った。新型コロナウイルス感染防止対策については、四国中央市と連絡を密にし、細部にわたり協議を行い対応した。			
施設所管課の評価	職員1名減による業務遂行への影響を懸念したが、支障なく管理運営が行われた。市との連携を随時図りながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館措置や利用者への注意喚起を積極的に行い、安全安心な管理運営に努めた。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	B	B
		設定目標に対する取組は適切である。	B	B
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	感染拡大防止のため、今年度は通年の3分の1の開館日数となったが、使用不可の連絡、使用日の振替、返金等問題なく対応した。 自主事業のスポーツ教室は、利用者の意見を取り入れ、新しく川之江体育館でも2教室開催した。感染対策として、指消毒の設置、呼びかけ、利用者が使用する器具の除菌等の対応を日々行った。			
施設所管課の評価	臨時休館に伴う施設予約者へ連絡調整等について、迅速かつ適切に対応できた。 開館日数が前年度から87日減少したが、事業開催数は増加、自主事業数も維持できた。一方で、自主事業受講者数が減少し、満足度も若干低下しており、コロナ禍での事業展開に苦慮していることが伺える。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	利用料収入等の事業収入が減額となったが、経費の削減等により対応した。		
	施設所管課の評価	コロナ禍において収入面の見通しが不透明な状況であったが、昨年度に引き続き、光熱水費を始めとした経費節減に努めた結果、妥当な収支状況となっている。		
総合評価		①②③を合わせた総合評価	B	B
所見（成果・課題等）		<p>感染拡大防止対応のため、開館日数が通年の3分の1になった。指定管理5年目であったが、利用者の増加、自主事業収入の増額には至らなかったが、来年度は、今まで培ってきた経験を生かし、コロナ感染拡大防止対策を講じながら、利用者が安心安全に利用していただく施設管理運営を行っていきます。</p> <p>サービスの履行・質及び安定性とも、適正なものとなっている。今後も、コロナ禍で、不安定な事業運営を行わざるを得ない状況が続くと推察されるが、利用者の安全と健康を第一に、各種スポーツ団体とも連携を図りながら、サービスの向上と施設管理や計画的な修繕に努めていただきたい。</p>		

事業評価表例

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	B（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	C（一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	D（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている
総合評価	A（優良）	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B（良好）	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C（一部良好でない）	評価基準がすべてC以上である
	D（良好でない）	評価基準にDが含まれている